

建設産業ビジョン改訂の背景

建設産業を取り巻く環境の変化

「人口減少社会」
建設産業従事者の高齢化、若年者減少
「気候変動」
災害の激甚化・頻発化
「不安定な経済情勢」
資機材価格高騰

第三次担い手3法※

「担い手確保」
処遇改善、価格転嫁、働き方改革・環境整備
「生産性向上」
「地域における対応力強化」
地域建設業等の維持、公共発注体制強化

関連計画の状況

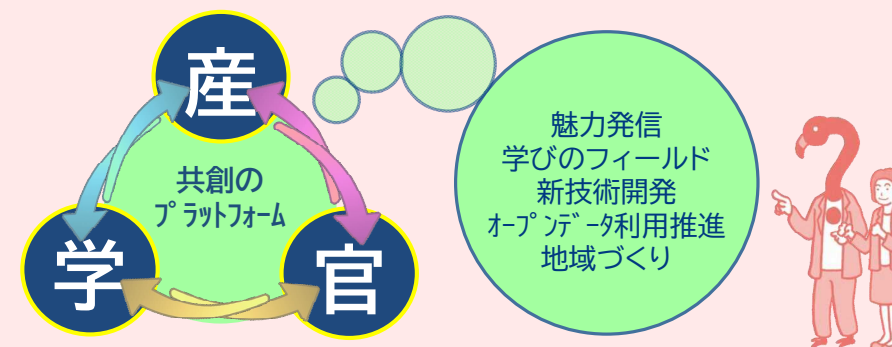
「上位計画(静岡県総合計画)の改訂」
県民幸福度の最大化 ウェルビーイング
「関連計画(静岡県イノベーション)の改訂」
安全・安心で豊かな県土の実現
「関連計画(建設職人計画)の統合」
建設産業一体となって施策を推進

※担い手3法:「建設業法」、「公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律」、「公共工事の品質確保の促進に関する法律」

新たな課題

他産業に引けを取らない労働環境の整備
人口減少社会における建設産業の担い手確保
新たな枠組みや、DX(Digital Transformation)などによる生産性の向上
災害の激甚化・頻発化に対応し地域の守り手として活躍する建設産業の持続

基本理念



産学官の共創による課題対応

「静岡県建設産業ビジョン2025」

～地域とともに、魅力ある建設産業として持続していくために～

魅力ある建設産業として持続していくための共創ビジョン・施策パッケージ

重点目標・目指す姿

共創による取組の方向性

主な施策パッケージ(裏面参照)

担い手確保

働き方改革

- ・建設従事者の処遇改善
- ・安全な労働環境確保

人材の活用・育成

- ・多様な人材の活用推進
- ・優れた技術の継承、多能工化
- ・建設産業のさらなる魅力向上

- ・適正な賃金、安全衛生経費の行き渡り
- ・労働環境の改善によるワークライフバランスの実現
- ・多重下請構造からの脱却
- ・労働災害ゼロの実現

- ・誰もが活躍できる産業へのバージョンアップ
- ・充実したプログラムや体制による技術や技能の向上
- ・「DOBO CLUB」が「土木 LOVE (誇りと情熱)」に高まる広報

- ・適正な労務費や安全衛生経費の確保と全従事者への適正な賃金の行き渡りの徹底
- ・柔軟な働き方の実現や休暇取得促進の環境整備
- ・技能者の自社雇用推進
- ・建設現場の安全衛生対策の徹底

- ・年齢、性別、国籍等に応じた適材適所の人材活用
- ・学びのフィールドの提供と活用
- ・建設産業の社会的役割の重要性、物作りの楽しさなどの魅力を発信

生産性向上の実現

- ・インフラマネジメントの推進
- ・建設現場の生産性向上

- ・新たな枠組みによるインフラ管理の最適化
- ・DX(Digital Transformation)の実現による業務効率化

- ・発注者、地域、業種等、既存の枠組みを超えた新たな公共工事の枠組みの検討
- ・新技術やオープンデータの活用環境整備

経営の安定化推進

- ・地域建設産業の維持
- ・地域と建設企業の共生

- ・地域建設企業の成長促進
- ・社会貢献活動(CSR)の取組推進

- ・防災、減災、国土強靱化の切れ目ない推進
- ・脱炭素化、再生可能エネルギーの活用による環境負荷低減

取組の方向性と施策パッケージ

担 い 手 確 保

重点目標Ⅰ 働き方改革

方向性、施策パッケージ

Ⅰ－１ 適正な賃金、安全衛生経費の行き渡り

- ① 適正な労務費や安全衛生経費の確保と全従事者への適正な賃金の行き渡り

Ⅰ－２ 労働環境の改善によるワークライフバランスの実現

- ① 柔軟な働き方の実現や休暇取得促進の環境整備
- ② 施工時期の平準化、余裕工期の確保による時間外労働の削減

Ⅰ－３ 多重下請構造からの脱却

- ① 技能者の自社雇用推進

Ⅰ－４ 労働災害ゼロの実現

- ① 建設現場の安全衛生対策の徹底
- ② 安全を最優先するための環境整備

重点目標Ⅱ 人材の活用・育成

方向性、施策パッケージ

Ⅱ－１ 誰もが活躍できる産業へのバージョンアップ

- ① 年齢、性別、国籍等に応じた適材適所の人材活用

Ⅱ－２ 充実したプログラムや体制による技術や技能の向上

- ① 学びのフィールドの提供と活用
- ② 連続した複数工種の技術を有するマルチクラフター(多能工)の育成と自社雇用の推進

Ⅱ－３「DOBO CLUB 」が「土木 LOVE (誇りと情熱)」に高まる広報

- ① 建設産業の社会的役割の重要性、物作りの楽しさなどの魅力を発信
- ② 就職前の子を持つ「親世代」への建設産業理解促進
- ③ 良好な景観を創造し、地域と人々の生活を豊かにする「まちづくり」を担う建設産業の魅力発信

重点目標Ⅲ 生産性向上の実現

方向性、施策パッケージ

Ⅲ－１ 新たな枠組みによるインフラ管理の最適化

- ① 発注者、地域、業種等、既存の枠組みを超えた新たな公共工事の枠組みの検討
- ② インフラ包括管理マネジメントの推進

Ⅲ－２ DX(Digital Transformation)の実現による業務効率化

- ① 新技術やオープンデータの活用環境整備
- ② DX活用による業務効率推進

(※群マネ:地域インフラ群再生戦略マネジメント)

重点目標Ⅳ 経営の安定化推進

方向性、施策パッケージ

Ⅳ－１ 地域建設企業の成長促進

- ① 防災、減災、国土強靱化の切れ目ない推進
- ② 事業連携や企業合併等の促進による経営力強化
- ③ 地域建設企業の維持と、県内建設企業の支店、営業所の活用による過疎地域等の地域力向上
- ④ 経営の多角化や既存事業の効率化の推進による企業力向上

Ⅳ－２ 社会貢献活動(CSR)の取組推進

- ① 脱炭素化、再生可能エネルギーの活用による環境負荷低減
- ② 資源循環型社会に貢献する建設リサイクルの推進
- ③ グリーンインフラの活用機運の醸成